

事業群評価調書(令和2年度実施)

| | | | |
|-------|---------------------------|-----------|----------|
| 基本戦略名 | 4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる | 事業群主管所属 | 教育庁生涯学習課 |
| 施策名 | (1) いつまでも健康で活躍できる社会の実現 | 課(室)長名 | 立木 貴文 |
| 事業群名 | ⑦ 豊かな人生を支える県民の生涯学習環境の整備 | 事業群関係課(室) | 高校教育課 |
| | ⑧ 地域の元気づくりのための社会教育の充実・活性化 | | |

1. 計画等概要

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--------|------------|---------------|----------|----------|--|----------|--------------|---|
| (長崎県総合計画チャレンジ2020 本文) | | | | | | | (取組項目) | | | |
| ⑦価値観やライフスタイルの多様化が進む中で、それぞれのライフステージに応じた学習機会が得られ、その成果を社会生活や職業生活に活かすことのできる環境を整備します。 ⑧地域社会における人づくり・絆づくり・地域づくりを進めるため、社会教育の中核的な機能を有する公民館や図書館の活性化や地域を担う人材の育成を図ります。 | | | | | | | i)「ながさき県民大学」の充実など県民のニーズに対応した生涯学習環境の整備(事業群⑦) ii)市町立図書館の支援など県立図書館の機能充実や新しい県立図書館の整備(事業群⑦) iii)地域コミュニティを活性化させる社会教育主事等の人材育成(事業群⑧) | | | |
| 事業群 | 指標 | | 基準年 | H28 | H29 | H30 | R元 | R2 | 最終目標(年度) | (進捗状況の分析) |
| | ⑦ながさき県民大学の講座受講者数 | 目標値① | / | 526,000人 | 527,000人 | 528,000人 | 560,000人 | 560,000人 | 560,000人(R2) | |
| | | 実績値② | | 526,661人(H26) | 562,045人 | 596,433人 | 596,951人 | 592,387人 | 進捗状況 | |
| | | 達成率②/① | | / | 106% | 113% | 113% | 105% | 順調 | |
| | 指標 | | 基準年 | H28 | H29 | H30 | R元 | R2 | 最終目標(年度) | ⑧公民館職員等研修会や県公民館大会、県社会教育研究大会では、各地区で活動している様々な団体等の実践発表や高校生による地域探究型学習の成果発表を取り入れ、また、インタビュー・ダイアログ※などの手法を用いて参加方法を工夫するなど、研修内容を充実することで参加者の高い満足度を維持している。 ※インタビュー・ダイアログ…司会者の進行により話し手と聞き手とが質問や対話を通して互いに共感や理解を深める手法 |
| | ⑧公民館職員等研修会及び県公民館大会、県社会教育研究大会参加者における満足度 | 目標値① | / | 90%以上を維持 | 90%以上を維持 | 90%以上を維持 | 90%以上を維持 | 90%以上を維持 | 90%以上を維持(R2) | |
| 実績値② | | | 98.0%(H26) | 93.1% | 90.4% | 93.2% | 98% | 進捗状況 | | |
| 達成率②/① | | | / | 100% | 100% | 100% | 100% | 順調 | | |

2. 令和元年度取組実績(令和2年度新規・補正は参考記載)

| 事業番号 | 取組項目 | 事務事業名 | 事業期間 | 事業費(単位:千円) | | | 事業対象 | 事業概要 (令和元年度事業の実施状況 (令和2年度新規・補正事業は事業内容)) | 指標(上段:活動指標、下段:成果指標) | | | 令和元年度事業の成果等 | 中核事業 | |
|------|--------|-------------|-------|------------|--------|---------|--------------------------------------|---|--------------------------|-------|-------|-------------|--|-----|
| | | | | H30実績 | うち一般財源 | 人件費(参考) | | | 主な指標 | H30目標 | H30実績 | | | 達成率 |
| | | | | R元実績 | | | | | | R元目標 | R元実績 | | | |
| | | 所管課(室)名 | | R2計画 | | | | R2目標 | | | | | | |
| 1 | 取組項目 i | ながさき県民大学事業費 | H20- | 5,390 | 5,390 | 5,580 | 県内に居住又は勤務・通学する者 | 県及び市町、大学等で実施している生涯学習に関する事業を体系化し、県民に学習機会を効果的に提供することで、地域における生涯学習の一層の振興を図った。また、障害者を対象としたふれあい交流講座を継続するとともに、ボランティア養成講座を開催することで、生涯にわたる学びの場の拡大を図った。まなびの手帳の子ども版については離島半島部の市町を中心に配布した。 | 活動指標 ながさき県民大学の講座数(講座) | 2,500 | 3,062 | 122% | ●事業の成果 ・全体の講座登録数が増加し、主催講座については受講者の満足度も高く、成果が上がっている。奨励賞受賞者は85名で、うち28名が18歳未満の受講者であった。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与・県民の学習意欲を高め、地域における生涯学習の振興を図る上で、効果的な取組である。 | ○ |
| | | | | 4,321 | 4,321 | 5,568 | | | | 2,500 | 3,076 | 123% | | |
| | | 5,282 | 5,282 | 5,583 | 根拠法令 | 生涯学習振興法 | 成果指標 ながさき県民大学(主催講座)における受講者の満足度(%) | 90以上 | | 98.3 | 100% | | | |
| | | 生涯学習課 | | | | | | | 90以上 | 99.4 | 100% | | | |
| | | | | | | | | | 90以上 | / | / | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|------|-----------------|----------|-----------|---------|---------|-------------------------------|---|------|--------------------------------------|--------|--------|--|--|
| 2 | 取組項目 | 生涯学習情報提供システム運営費 | H18- | 343 | 0 | 2,392 | 県内に居住又は勤務・通学する者 | 県民が、いつでも気軽に講座情報等を得られるように、インターネットやスマートフォンによる情報提供を行うシステムの改善を行った。また、新着情報の更新をこまめに行うなど、利用者にとって魅力ある情報を発信することで、利用者の拡大を図った。 | 活動指標 | 新着情報の掲載件数(件) | 126 | 119 | 94% | ●事業の成果 ・2、3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止による講座の中止決定が多く、新着情報の更新を一部見合わせたため、掲載件数が減少し、アクセス件数も減少した。 |
| | | | | 277 | 0 | 1,591 | | | 成果指標 | システムへのアクセス件数の前年度比(%) | 100以上 | 203 | 100% | |
| | | | | 665 | 0 | 2,393 | | | 根拠法令 | 生涯学習振興法 | 100以上 | 93 | 93% | |
| 3 | 取組項目 | 夜間中学設置調査研究事業 | (R2新規)R2 | / | / | / | 県内在住の義務教育未修了者・ひきこもり・不登校生徒・外国人 | 中学校夜間学級の設置に向け、関係機関とも連携を図りながら、学び直しを求める者や外国人を対象とした、ニーズ調査を実施する。また、協議会を発足し本年度はニーズ調査を基に夜間中学の設置の可否や設置者の検討を行う。次年度開校予定の先進地の視察を実施する。 | 活動指標 | 調査対象人数(人) | / | / | / | — |
| | | | | / | / | / | | | 成果指標 | 調査結果の取りまとめ | / | / | / | |
| | | | | 1,023 | 1,023 | 5,583 | | | 根拠法令 | 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律 | 実施 | / | / | |
| 4 | 取組項目 | 図書館管理運営費 | — | 107,649 | 25,815 | 199,300 | 県内に居住又は勤務・通学する者、公共図書館等 | 公立図書館に対する協力貸出や、協力レファレンス、職員研修等の実施を通じて、図書館運営に対する支援を図った。 | 活動指標 | 実務研修会実施回数(回) | 2 | 2 | 100% | ●事業の成果 ・ミライオン図書館で開催した研修では館内の施設や設備を市町立図書館職員に直接説明。著作権や県外の先進図書館職員を講師として招聘した研修は実務的で満足度も高い。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・県民の抱える課題やニーズは多様化・専門化しており、的確なサポートが必要となるため、毎年研修内容を精査したうえで市町立図書館等職員の資質向上となる研修を実施している。 |
| | | | | 169,415 | 68,255 | 182,942 | | | 成果指標 | 県立図書館から市町立・学校図書館等への蔵書貸出冊数(冊) | 34,000 | 42,748 | 125% | |
| | | | | 231,469 | 125,340 | 207,350 | | | 根拠法令 | 図書館法 | 32,000 | 20,537 | 64% | |
| 5 | 取組項目 | 新県立図書館整備事業費 | H25- | 5,650,256 | 11,059 | 55,804 | 県内に居住又は勤務・通学する者 | 大村市に建設した「ミライオン図書館(旧称:県立・大村市立一体型図書館※以下旧称省略)」は令和元年10月に開館した。 また、長崎市立山に整備予定の「県立図書館郷土資料センター(仮称)」建設にかかる設計が完了した。 | 活動指標 | — | — | — | ●事業の成果 ・「ミライオン図書館」への移転作業が完了し、令和元年10月に開館した。 ・郷土資料センター(仮称)の建設に係る設計が完了した。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・ミライオン図書館及び県立図書館郷土資料センター(仮称)の開館後、社会教育施設の拠点の一つとして当該施設を活用することにより、各種講座及び研修会の受講者数増加につながる。 | |
| | | | | 257,717 | 146,900 | 39,770 | | | 成果指標 | H29・H30:ミライオン図書館の建設 | 建物竣工 | 建物竣工 | | — |
| | | | | 609,709 | 25,657 | 25,520 | | | 根拠法令 | R元:県立図書館郷土資料センター(仮称)の設計 | 開館 | 開館 | | — |
| 6 | 取組項目 | 社会教育振興促進費 | H16- | 2,189 | 2,189 | 16,742 | 社会教育関係者 | 県社会教育研究大会や県公民館大会を通じて、県内の社会教育関係者の資質向上を図った。 また、第33期県社会教育委員会答申「活力ある地域づくりに貢献する実践的人材の育成方策」に基づき、多世代・多分野協働を目指した各種研修会を実施した。 | 活動指標 | 公民館職員等研修会及び県公民館大会、県社会教育研究大会参加者数(人) | 860 | 1,423 | 165% | ●事業の成果 ・台風接近に伴う県公民館大会の中止等により、指標に掲げる大会への参加者が大幅に減少し、活動指数は未達成となったが、研修会参加者の満足度の高さが示す通り、県内の社会教育関係者の意欲と実践力の向上が図られた。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・高校生による地域活性化に関する実践発表や文科省職員による講演、登壇者や参加者による双方向性のある学びの場を設定し、高い満足度を得ることができた。 |
| | | | | 26,963 | 18,414 | 20,680 | | | 成果指標 | 公民館職員等研修会及び県公民館大会、県社会教育研究大会参加者満足度(%) | 1,050 | 276 | 26% | |
| | | | | 23,435 | 12,326 | 20,735 | | | 根拠法令 | 社会教育法第6条第2項、社会教育法第9条の6 | 1,050 | / | / | |
| | | 生涯学習課 | | | | | | | | 90以上 | 93.2 | 100% | | |
| | | 生涯学習課 | | | | | | | | 90以上 | 98 | 100% | | |
| | | 生涯学習課 | | | | | | | | 90以上 | / | / | | |

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

| | |
|---|---|
| <p>i 「ながさき県民大学」の充実など県民のニーズに対応した生涯学習環境の整備</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 「ながさき県民大学」では県民のニーズに応える多くの講座が開設され、また、講座内容の充実を図ることで高い満足度が得られた。 今後は、障害者の方や若者を対象とした講座の充実や会場で受講できない方への対応が課題である。</p> | <p>●課題解決に向けた方向性 障害者の居場所づくりや社会参加を促進する講座や、若者のニーズに応える講座の充実とともに、効果的な情報提供等学びやすい環境を整備していく。更なるニーズに応えるため、大学等の実施機関や関係各課との連携を深め、講座内容の更なる充実を図るとともに、広報、周知の強化を図る。</p> |
| <p>ii 市町立図書館の支援など県立図書館の機能充実や新しい県立図書館の整備</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 市町立図書館等への蔵書貸出冊数については減少しているが、来館による蔵書貸出数は前年度比224%となっている。このことから、長崎図書館が長崎市から大村市に移転したことにより、今まで市町立図書館等を通じ蔵書貸出を利用していた県央地区及び県北地区などの利用者が直接来館し借り受けている状況であることが認められる。 また、コロナウイルス感染症拡大予防のため、市町立図書館がサービス縮小の一環として協力貸出サービスを取りやめたことも減少の一因である。</p> | <p>●課題解決に向けた方向性 県内各市町への協力車巡回や配送等による蔵書貸出を行うなど支援の充実を図る。あわせて、協力貸出の申請方法を拡充し、図書館等を通さず、利用者が直接オンライン上で申し込むシステム(とりよせくん)を導入するなど、協力貸出の利便性と機能充実を図る。また、市町立図書館職員を対象とした研修の内容の更なる充実を図るほか、市町立図書館の新館建設をはじめとする様々な課題において知見の提供を行い、その運営を支援する。</p> |
| <p>iii 地域コミュニティを活性化する社会教育主事等の人材育成</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 研修会の参加者満足度は目標の90%以上を維持できているが、本土の受講者が多く、離島・半島地区の受講者が少ない傾向がある。 また、本県の社会教育主事講習受講者は、平成30年度には5人、令和元年度には6人であった。 以上より、離島・半島地区の受講対象者への研修機会の確保及び社会教育主事の配置・活用の有用性等について周知・啓発が課題である。</p> | <p>●課題解決に向けた方向性 離島・半島地区での研修機会の確保・充実を図る目的で、地域のニーズや実態に応じたアウトリーチ(訪問)型の研修会を開催する。 直近の5年間、社会教育主事講習受講者は6人前後を推移しており、少数ではあるが着実な育成が進んでいる。今後も、研修会や各市町担当者会等を通じて社会教育主事の重要性を伝え、受講者を募っていく。</p> |

4. 令和2年度見直し内容及び令和3年度実施に向けた方向性

| 事業番号 | 取組項目 | 事務事業名 所管課(室)名 | 令和2年度事業の実施にあたり見直した内容 (令和2年度の新たな取組は「R2新規」等と記載、見直しが無い場合は「—」と記載) | 令和3年度事業の実施に向けた方向性 | | |
|------|-------|--------------------------|--|-------------------|--|-------|
| | | | | 事業構築の視点 | 見直しの方向 | 見直し区分 |
| 1 | | ながさき県民大学事業費 生涯学習課 | 若者の受講者数を増やすため、昨年度企業等で実施したアンケート結果をもとに、若者を対象とした講座を開設する。まなびの手帳の子ども版の計画的な配布を継続し、18歳未満の受講者の拡大を図る。大学等の講座実施機関や関係各課、各自治体の意見を聴取し、更なるニーズに対応するため、講座の企画や情報提供の方法を県民大学運営委員会で協議し、今後の事業展開に活かす。 | ② | 障害者の生涯学習に対応する講座や若者のニーズに応える講座の充実を図る。感染症拡大防止対策のため、多人数を集めての開催が困難な講座については、動画配信やオンラインによる講座実施に向けた環境整備について実施機関との連絡調整を図りながら検討していく。 | 改善 |
| 2 | 取組項目1 | 生涯学習情報提供システム運営費 生涯学習課 | よりアクセスしやすい環境を提供するためのシステムの整備を図る。 | ② | 新しい生活様式に対応した講座のあり方を検討し、各機関が実施する講座の動画配信やオンライン講座の情報を「ながさきまなびネット」へ登録するように依頼する。また、まなびネット上での動画による講座の受講環境の整備について検討していく。 | 改善 |
| 3 | | 夜間中学設置調査研究事業 高校教育課 | R2新規 | — | 令和2年度で事業終了。 | 終了 |

| | | | | | | |
|---|-------------|-------------|--|---|---|------|
| 4 | 取組項目 ii | 図書館管理運営費 | 令和元年6月28日公布・施行された読書バリアフリー法に基づき、視覚障害者等(視覚障害、発達障害、肢体不自由等の障害により、書籍について視覚による認識が困難な者)の読書環境の整備のため、ミライon図書館におけるサービス拡充と研修会等を通じた県内図書館職員の資質向上を図る。 また、ブックトークや読み聞かせイベント等のオンライン配信を実施し、読書活動推進のための環境整備を行う。 | ⑩ | 令和3年度中に「県立図書館郷土資料センター(仮称)」の開館を目指しており、開館に向けた準備を進めるとともに、現在の仮施設でのサービスを当面継続する。ミライon図書館においては、市町立図書館等の運営の支援の一層の充実、県内大学図書館等への情報リテラシー(情報を活用する能力)教育支援など、各図書館等と連携・協力のもと、より一層の支援を図る。 | 拡充 |
| | | 生涯学習課 | | | | |
| 5 | 取組項目 ii | 新県立図書館整備事業費 | — | — | 「県立図書館郷土資料センター(仮称)」の完成を目指し、今後も引き続き準備作業を行っていく。 | 現状維持 |
| | | 生涯学習課 | | | | |
| 6 | 取組項目 iii | 社会教育振興促進費 | 公民館職員等研修会については、県内の公民館活動の活性化のために、届ける研修としてアウトリーチ型研修会を企画し、半島地区での研修会を開催する。 社会教育に関する研修会において、参加者が固定化する傾向があるので、開催地を長崎市以外に設定したり、様々な団体や世代が参加できるよう各種関係団体に周知するなど工夫する。 | ② | 令和2年度から実施するアウトリーチ型研修会に離島地区も加え、県内全域での公民館活動の活性化を目指す。併せて、各種研修会についても、研修会の開催地や方法について検討していく。 県社会教育研究大会やその他の社会教育に係る研修会において、地域のために活動している方々やこれからの地域を創る若者やNPO等の実践発表等を取り入れる。また、社会教育関係者以外にも学校やまちづくり等に関係する地域住民等に対して、これまで以上に研修会の周知を図る。 | 改善 |
| | | 生涯学習課 | | | | |

注:「2. 令和元年度取組実績」に記載している事業のうち、令和元年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点